



平成23年8月10日

各位

上場会社名 株式会社 ダイフク  
 代表者 代表取締役社長 北條 正樹  
 (コード番号 6383)  
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員 猪原 幹夫  
 (TEL 06-6472-1261)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	90,000	700	400	△300	△2.71
今回修正予想(B)	95,000	1,500	1,300	600	5.42
増減額(B-A)	5,000	800	900	900	
増減率(%)	5.6	114.3	225.0	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	73,956	△753	△778	△1,178	△10.65

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	190,000	3,000	2,500	800	7.23
今回修正予想(B)	195,000	3,500	3,000	800	7.23
増減額(B-A)	5,000	500	500	—	
増減率(%)	2.6	16.7	20.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	159,263	1,726	1,345	269	2.43

#### 修正の理由

第2四半期累計会計期間の業績は、受注・売上はほぼ予定通りに推移し、営業利益および経常利益は期初予想を上回る見通しです。四半期純利益は、保有株式の時価評価損の影響を見込んでおります。

利益面の上方修正は、北米を中心に事業展開しているDAIFUKU WEBB HOLDING COMPANYの収益拡大、全社的な間接経費の削減効果などが寄与しました。DAIFUKU WEBB HOLDING COMPANYの改善要因は、半導体工場向けシステムおよび自動車やその関連業界向けシステムなどの受注増、傘下企業の生産体制見直し等によるシナジー効果などです。また、台湾の子会社も、タッチパネル業界の活発な設備投資の恩恵を受けています。

通期業績も、受注・売上はほぼ予定通りに推移し、営業利益および経常利益は期初予想を上回る見通しです。当期純利益は、保有株式の時価評価損の影響を見込んでおります。

利益面の改善要因は、全社的な間接経費削減がさらに進展するとともに、国内外子会社の貢献などが見込まれるためです。

なお、受注面におきましては上期1,000億円、通期2,000億円の予想数値を変更しておりません。

(注)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上